

# 学研労協 NEWS ニュース

## 合同宿舎削減に関する請願書が 市議会・総務常任委員会で「趣旨採択」される

学研労協は、昨年11月に財務省から出された宿舎廃止計画に対して本年2月18日につくば市議会に合同宿舎削減に関する請願書を提出し（学研労協NEWSニュースNo.7:2013年2月20日発行）、継続審査となっておりました。その「筑波研究学園都市における合同宿舎削減に関する請願書」につきまして、9月24日の総務常任委員会において「趣旨採択」との判断が下されました。

審査過程においては、北口委員からの「請願者の意見を聞きたい」との提案に対し、古山委員、木村委員のご賛同をいただき、請願者である学研労協の意見を述べる機会が与えられました。

これに対して学研労協小瀧議長から、退去該当となり引っ越しを余儀なくされている研究者家族の心労・窮状や、防犯の面での不安、等の説明がなされました。

これらを受け、各委員から、

「深刻な問題であることが分かった。請願者の思いを汲んであげてはどうか」（木村委員）

「財務省への独自の働きかけなど、熱く心を打つ。この思いを汲み取りたい」（北口委員）

「趣旨採択としてはどうか」（古山委員）

「請願書にある宿舎廃止計画自体の見直し、という点で賛同するには難しいところがある。

しかし、切実な思いは理解できる。趣旨採択としてはどうか」（飯岡委員）

といった意見が出され、最終的に、全会一致で「趣旨採択」という審査結果となりました。

今回の審査結果は、後日の本会議で報告され、取扱いについて正式に採決されることとなります。

つくば市議会・総務常任委員会の全会一致での「筑波研究学園都市における合同宿舎削減に関する請願書」の「趣旨採択」という結果は、これまでの学研労協の運動の貴重な一歩であり、これからの運動の大きな礎であります。

学研労協は、今後とも研究者の住む魅力ある筑波研究学園都市の発展に尽力していきたいと思っておりますので、皆様のご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。